

科目名	特別活動・総合的な学習の時間の指導法			担当教員	三島 晃陽
単位	2単位	講義区分	講義	ナンバリング	ED2EPG202
期待される学修成果	教科教育 子ども理解				
アクティブ・ラーニングの要素	ディスカッション、ディベート				
実務経験	教諭（講師を含む）				
実務経験を生かした授業内容	学校現場や行政の経験を生かし、学校の教育活動の意義や教師の役割、児童・生徒への具体的な指導の在り方等について、実例を通して講義する。				
到達目標及びテーマ	特別活動及び総合的な学習の時間の特質や意義、教育課程における位置付けや役割を理解し、具体的な指導や実践的・問題解決的な能力を身に付ける。その中で、①児童会（生徒会）活動や学校行事等の具体的な目標が設定できる。②集団でのよりよい生活・人間関係を築こうとする自主的・実践的な態度や指導力を身に付ける。③話し合い活動や適応指導の必要性を理解し、集団の中で自己を生かす能力育成の必要性を理解する。④探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習の必要性、協働で問題解決することの必要性を理解する。				
授業の概要	特別活動や総合的な学習の時間の目標と内容、指導計画の作成と内容の取扱い等についての理解においては、先駆的实践例を豊富に紹介し理念と実践をつなげられるよう配慮する。そして、生きる力（資質・能力）の育成に当たっては、特別活動、総合的な学習の時間、特別の教科道徳との有機的連携を図り、望ましい人間関係の育成を意図した適応指導や自治的活動・学校行事等の改革に向けた指導計画づくりや授業展開の在り方を重視する。【デジタル技術利用 該当番号③、④】				

授業計画	
第1回	オリエンテーション、教育課程における特別活動と総合的な学習の時間の位置付け、具体的な学習活動 小課題：学習指導要領の改訂の経緯と「資質・能力」とは何かについて知る。テキストP1～10参照
第2回	特別活動の目標と内容、教育的意義 ・学級（ホームルーム）活動、児童会（生徒会）活動、クラブ活動、学校行事 小課題：特別活動の内容について、自らの経験を踏まえて整理する。テキストP11～135参照
第3回	特別活動創設の歴史的な背景と実践課題 ・特別活動の歴史と学校現場の実践上の課題について 小課題：本時の学習内容をテキストで確認し、特にキャリア教育について考えをまとめる。テキストP43～83参照
第4回	学級活動の内容と指導の在り方① ・話し合い活動（自治的・自発的活動）の具体と合意形成における指導の在り方 小課題：本時の学習内容をテキストで確認し、自らの「学級会」の経験についてまとめる。テキストP43～52参照
第5回	学級活動の内容と指導の在り方② ・よりよい人間関係の形成と自己実現を図る学級活動（適応指導）の在り方 小課題：本時の学習内容をテキストで確認し、まとめる。テキストP52～62参照
第6回	児童会（生徒会）活動、（クラブ活動）の目標と特質 ・内容の取扱いと指導上の留意点 小課題：本時の学習内容をテキストで確認し、自分が実践したい活動のイメージをまとめる。テキストP84～115参照
第7回	学校行事の内容と指導の在り方 ・儀式的行事、健康安全・体育的行事、遠足・集団宿泊的行事、勤労生産・奉仕の行事 小課題：本時の学習内容をテキストで確認し、自分が実践したい活動のイメージをまとめる。テキストP116～135参照
第8回	学校行事を核とした学校・学級経営の在り方と児童（生徒）の評価、指導の在り方 小課題：教員になったら、特別活動の何をどのように工夫・実践したいか。（レポート）
第9回	総合的な学習の時間への期待① ・社会の変化と総合的な学習の時間創設の背景、学力の捉えと学習指導要領改訂から 小課題：学習指導要領改訂の経緯と総合的な学習の時間の趣旨についてまとめる。テキストP1～7参照
第10回	総合的な学習の時間への期待② ・総合的な学習の時間創設の経緯と学校現場における実践の現状 小課題：テキストをもとに各学校が定める具体的な内容をまとめる。テキストP73～88参照
第11回	総合的な学習の時間の目標・内容と求められる学び ・総合的な学習の時間における探究的な学びのサイクル 小課題：探究的・協働的な学び、主体的・対話的で深い学びなどについてまとめる。テキストP9～34、P111～123参照
第12回	総合的な学習の時間の特質 ・各学校が設定する探究課題と実現したい学びの姿 ・探究活動と考えるための技法 小課題：思考ツール等を活用した話し合いの集約の具体例を作成する。テキストP73～88参照
第13回	総合的な学習の時間の先駆的事例及び指導構想 ・具体的実践を基に総合的な学習の時間をどうデザインするか考える 小課題：本時の学習内容をテキストで確認し、まとめる。資料参照
第14回	総合的な学習の時間の指導計画と実践事例 ・カリキュラム・マネジメントによる指導計画の工夫と実践事例 小課題：本時の学習内容をテキストで確認し、まとめる。テキストP66～107参照
第15回	総合的な学習の時間における学校現場の評価の在り方と学校・学級経営 小課題：教員になったら、総合的な学習の時間をどう設計・実践したいか。（レポート）テキストP124～146参照

事前学修	2時間	毎時間、次時の学習内容に関する「小課題」を提示し、各自がその課題について調べたり、自分の経験を想起したりして学習する。
事後学修	2時間	毎時間、講義の内容を「用意した学習ノート」に各自が分かりやすく整理し、小課題を含めた毎時間の学習ノートを事後学習で完成させる。（次時に提出）
フィードバックの方法	毎時間の学習ノートと小課題を提出させ、一人一人の学び方と取組姿勢を評価し小課題の最適解を紹介する。また、レポートは、個別にコメントし学びを総合的に評価・指導して返却する。	

成績評価方法	割合（％）	評価基準等
定期試験	0%	実施しない
レポート	50%	2回（第8・15回）のキーワードを基にしたレポート内容
上記以外の試験・平常点評価	50%	授業での討論参加状況および毎回の学習ノート（含：小課題）の記録内容
補足事項		

教科書				
書名	著者	出版社	ISBN	備考
小学校学習指導要領解説（特別活動編）	文部科学省	東京書籍	978-4-487-28709-3	なし
小学校学習指導要領解説（総合的な学習の時間編）	文部科学省	東京書籍	978-4-487-28708-6	なし
参考資料				

科目名	特別活動・総合的な学習の時間の指導法			担当教員	福地 淳宏
単位	2単位	講義区分	講義	ナンバリング	ED2EPG202
期待される学修成果	教科教育 子ども理解				
アクティブ・ラーニングの要素	ディスカッション、ディベート				
実務経験	教諭（講師を含む）				
実務経験を生かした授業内容	学校現場や行政の経験を生かし、学校の教育活動の意義や教師の役割、児童・生徒への具体的な指導の在り方等について、実例を通して講義する。				
到達目標及びテーマ	特別活動及び総合的な学習の時間の特質や意義、教育課程における位置付けや役割を理解し、具体的な指導や実践的・問題解決的な能力を身に付ける。その中で、①児童会（生徒会）活動や学校行事等の具体的な目標が設定できる。②集団でのよりよい生活・人間関係を築こうとする自主的・実践的な態度や指導力を身に付ける。③話し合い活動や適応指導の必要性を理解し、集団の中で自己を生かす能力育成の必要性を理解する。④探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習の必要性、協働で問題解決することの必要性を理解する。				
授業の概要	特別活動や総合的な学習の時間の目標と内容、指導計画の作成と内容の取扱い等についての理解においては、先駆的实践例を豊富に紹介し理念と実践をつなげられるよう配慮する。そして、生きる力（資質・能力）の育成に当たっては、特別活動、総合的な学習の時間、特別の教科道徳との有機的連携を図り、望ましい人間関係の育成を意図した適応指導や自治的活動・学校行事等の改革に向けた指導計画づくりや授業展開の在り方を重視する。【教育DX指定科目】① 初等中等教育でデジタル技術の応用や批判的検討を扱う科目（BYOD利用可）				

授業計画	
第1回	オリエンテーション、教育課程における特別活動と総合的な学習の時間の位置付け、具体的な学習活動 小課題：学習指導要領の改訂の経緯と「資質・能力」とは何かについて知る。テキストP1～10参照
第2回	特別活動の目標と内容、教育的意義 ・学級（ホームルーム）活動、児童会（生徒会）活動、クラブ活動、学校行事 小課題：特別活動の内容について、自らの経験を踏まえて整理する。テキストP11～135参照
第3回	特別活動創設の歴史的な背景と実践課題 ・特別活動の歴史と学校現場の実践上の課題について 小課題：本時の学習内容をテキストで確認し、特にキャリア教育について考えをまとめる。テキストP43～83参照
第4回	学級活動の内容と指導の在り方① ・話し合い活動（自治的・自発的活動）の具体と合意形成における指導の在り方 小課題：本時の学習内容をテキストで確認し、自らの「学級会」の経験についてまとめる。テキストP43～52参照
第5回	学級活動の内容と指導の在り方② ・よりよい人間関係の形成と自己実現を図る学級活動（適応指導）の在り方 小課題：本時の学習内容をテキストで確認し、まとめる。テキストP52～62参照
第6回	児童会（生徒会）活動、（クラブ活動）の目標と特質 ・内容の取扱いと指導上の留意点 小課題：本時の学習内容をテキストで確認し、自分が実践したい活動のイメージをまとめる。テキストP84～115参照
第7回	学校行事の内容と指導の在り方 ・儀式的行事、健康安全・体育的行事、遠足・集団宿泊的行事、勤労生産・奉仕的行事 小課題：本時の学習内容をテキストで確認し、自分が実践したい活動のイメージをまとめる。テキストP116～135参照
第8回	学校行事を核とした学校・学級経営の在り方と児童（生徒）の評価、指導の在り方 小課題：教員になったら、特別活動の何をどのように工夫・実践したいか。（レポート）
第9回	総合的な学習の時間への期待① ・社会の変化と総合的な学習の時間創設の背景、学力の捉えと学習指導要領改訂から 小課題：学習指導要領改訂の経緯と総合的な学習の時間の趣旨についてまとめる。テキストP1～7参照
第10回	総合的な学習の時間への期待② ・総合的な学習の時間創設の経緯と学校現場における実践の現状 小課題：テキストをもとに各学校が定める具体的な内容をまとめる。テキストP73～88参照
第11回	総合的な学習の時間の目標・内容と求められる学び ・総合的な学習の時間における探究的な学びのサイクル 小課題：探究的・協働的な学び、主体的・対話的で深い学びなどについてまとめる。テキストP9～34、P111～123参照
第12回	総合的な学習の時間の特質 ・各学校が設定する探究課題と実現したい学びの姿 ・探究活動と考えるための技法 小課題：思考ツール等を活用した話し合いの集約の具体例を作成する。テキストP73～88参照
第13回	総合的な学習の時間の先駆的事例及び指導構想 ・具体的実践を基に総合的な学習の時間をどうデザインするか考える 小課題：本時の学習内容をテキストで確認し、まとめる。資料参照
第14回	総合的な学習の時間の指導計画と実践事例 ・カリキュラム・マネジメントによる指導計画の工夫と実践事例 小課題：本時の学習内容をテキストで確認し、まとめる。テキストP66～107参照
第15回	総合的な学習の時間における学校現場の評価の在り方と学校・学級経営 小課題：教員になったら、総合的な学習の時間をどう設計・実践したいか。（レポート）テキストP124～146参照

事前学修	2時間	毎時間、次時の学習内容に関する「小課題」を提示し、各自がその課題について調べたり、自分の経験を想起したりして学習する。
事後学修	2時間	毎時間、講義の内容を「用意した学習ノート」に各自が分かりやすく整理し、小課題を含めた毎時間の学習ノートを事後学習で完成させる。(次時に提出)
フィードバックの方法	毎時間の学習ノートと小課題を提出させ、一人一人の学び方と取組姿勢を評価し小課題の最適解を紹介する。また、レポートは、個別にコメントし学びを総合的に評価・指導して返却する。	

成績評価方法	割合（％）	評価基準等
定期試験	0%	実施しない
レポート	50%	2回（第8・15回）のキーワードを基にしたレポート内容
上記以外の試験・平常点評価	50%	授業での討論参加状況および毎回の学習ノート（含：小課題）の記録内容
補足事項		

教科書				
書名	著者	出版社	ISBN	備考
小学校学習指導要領解説（特別活動編）	文部科学省	東京書籍	978-4-487-28709-3	なし
小学校学習指導要領解説（総合的な学習の時間編）	文部科学省	東京書籍	978-4-487-28708-6	なし
参考資料				